

サラリーマン川柳(ねえあなた ほしい時だけ 声変わる) (もったいない その一言で メタボ腹) (ハイビジョン 昔のアイドル 見たくない) (新鮮と 買って十日も 冷蔵庫)

連合中越第59回(拡大)地協委員会

2010春季生活闘争スタート

働くすべての仲間の雇用維持と生活の安定をめざして



第59回連合中越(拡大)地協委員会が2月17日(水)18時30分から開催され、10春季生活闘争がスタートした。委員会前段には、ミニ講演会として連合新潟小林副事務局長が連合新潟の春季生活闘争方針について説明を行い認識を深めた。

連合新潟小林副事務局長は、前段ミニ講演会で、春季生活闘争方針資料に基づいて説明。県経済・雇用情勢や各種データを根拠とした賃金引上げ要求目安など、連合新潟としての賃金改善要求をはじめとした10春闘方針の説明と提起がなされ、全体で認識統一がはかられた。

続いて、地協委員会



第19回定期総会以降の一般活動報告が事務局から提案され、全体の拍手で承認された。続く、審議事項では、10春季生活闘争関係、第81回地区ミーデー関係等を中心とした課題について提案がなされた。特に、直面する官公・民間部

連合中越は、2月17日(水)地協委員会終了後、第3回幹事会兼第1回支部代表者会議を開催した。報告事項は、各支部役員体制や年間主要活動予定を報告。審議事項では、直面

春季生活闘争など直面活動確認

連合中越第3回幹事会

門連絡会(中・小共闘センター兼)や春季生活闘争勝利総決起集会の取組みが確認された。また、第81回地区ミーデーは5月1日(土)に開催とすることや自治体要望の回答内容について、政策委員会等で今後精査分析を加えていくこと等が確認された。

最後に、矢島議長の団結ガンバローが三唱され、本格的に春闘がスタート、闘う決意が固められた。



第669号 2010.2.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円



ながおかLSC応援団

「ちっと手伝おうねか」旗上げ

ながおかライフサポートセンター(以下LSC)応援団旗上げの集いが、2月12日(金)11時に開催された。開所以来、ながおかLSCには、生活・家庭相談、労働・雇用相談、債務金銭相談の順に510件を超える相談が寄せられている。当日は、親と方衆19名と



「みつけ元気助け合いの会」と関係者での旗上げ。OBを中心とした豊富な経験を持つ、頼もしい応援団の設立である。名称はユニークにも「ちっと手伝おうねか」だ。長老に互選された松岡さんは「長老というより中年。皆さんから意見を出していただき、地域や市民に役に立てるようになっていきたい」と抱負を述べられた。会議後には、みつけ元気の会自慢の手打ち蕎麦を賞味。ゆるやかに大きな一歩を踏み出した。

て確認がなされた。また、第81回地区ミーデーは5月1日(土)に開催とすることや自治体要望の回答内容について、政策委員会等で今後精査分析を加えていくこと等が確認された。

最後に、矢島議長の団結ガンバローが三唱され、本格的に春闘がスタート、闘う決意が固められた。

相談は述べ11件。パワハラ・嫌がらせ、退職金、年金、有給休暇、残業代の未払いなど様々。今回の取り組みでは、派遣切れという相談はなかったが、事務所への訪問相談もあり、緊張感が走った。はじめて相談に当たる担当者はコーディネートと同期で対応。事後の報告も真剣さが現れていた。



必要の理解も増す。今春闘は非常に厳しい交渉といわれているが、組合員のため活動していきこう。

(副議長 齋藤 良)

東蔵王2 No.3

本年4月から、改正労働基準法が施行される。その内容として、時間外割増率の見直しが行われるが、改正の趣旨について週60時間以上労働する労働者の割合は、全体で10%。特に30歳代の子育て世代の男性が20%となっており、長時間労働者の割合が高くなっている(平成20年総務省調査)▼労働者の健康維持、労働以外の生活のための時間を確保できる労働環境の整備が重要な課題である。健康の確保、仕事と生活の調和を目的とし改正法が成立したわけだ▼昨今、過労死など長時間労働が与える、メンタル面も含めた健康への影響について言われているが、長時間労働の労働者への働き方改革が重要である▼職場の現状を把握し、改善策をみんなで行って実行する。当たり前のことだが、行動すること、労働組合の必要性の理解も増す。今春闘は非常に厳しい交渉といわれているが、組合員のため活動していきこう。

サラリーマン川柳 (エコバッグ 集まりすぎてムダバッグ) (軽いのは俺の財布に妻の口)

(風強く 夫婦のシャツが叩きあい) (ネコ・カラス 自分の好物 分別し)

すべての労働者の
雇用と

生活の
安定を実現しよう!

政策制度 要求 **労働条件 交渉**

2010 春季生活闘争

連合 <http://www.jtuc-rengo.or.jp>

県・食と環境ネットワーク第3回総会開催



「食」に対する理解を広げる活動展開
県内産の食材料理振舞う

この会は「連合新潟」と「新潟県総合生活協」で構成され、「食・緑・水」をテーマに環境問題や農林水産業の発展、食に対する安全に関する諸問題について会員相互の連帯と課題解決に向けた諸活動を展開しているところだ。

この日は約50人の参加で、記念講演と総会、地産地消にこだわった食材によるパーティーが行われた。最初に「日本ならびに新潟における環境問題の現状」と題して新潟大学の藤堂史明准教授より記念講演がありました。エネルギー使用量の世界的な格差、

マイカー利用と公共交通のエネルギー使用量と広域化した地域における都市交通の制度など興味深い話がありました。総会は「経過報告」「活動方針」などが承認された。今後も裾野を広げた活動を意識し「食」の自給率や安全性の課題に対し学習会を中心に活動を行うことを確認した。

パーティーは県内各地の食材にこだわった食事を完食し閉会となりました。

(連合中越幹事・市民 SJ 担当 皆川清)



新潟産の食材を使用した料理

ながおかLSC四役会議

日時 3月9日(火) 18:00~

会場 長岡市勤労会館 2F

議題

- ・相談状況について
- ・意見交換
- ・その他

連合見附支部だより



立春過ぎの2月6日相談ダイヤルの街宣を引き継ぎ見附地区、栃尾地区をまわりました。

当日は吹雪で看板をしょった車は横風にあおられその後、連合新潟への道程は国道8号線の渋滞もあり遠い道でのりでした。

そんなきびしい季節ですが、16日見附ではライフサポートを支える元気の会が2回目の新年会をむかえ、今までの活動を振り返り、今後の展望を語るなど大いに盛り上がりました。



連合栃尾支部だより



2月5日に栃尾支部代表者会議と旗開きを開催しました。雪の多い日の開催となりました。

代表者会議の中では春季生活闘争栃尾地区決起集会の日程、内容について討議しました。その後、栃尾地区メーデーについての打ち合わせも行いました。

また支部代表者会議終了後、同会場の部屋を移して旗開きを開催しました。

5単産12名の参加者で行いました。不況、少子化人口減の真っ只中にある栃尾地域ですが集まって知恵を出し合いながら、少しずつでも取り組みを進めていこうという意識あわせができたように思われます。

寒い日が続きますが、春に向けて力を蓄えていこうとの意見でまとまったように思います。